©山陽新聞社　2026

第10回 1.6万人走る

おかやまマラソン2026



スタート地点のシゲトーアリーナ前を一斉に駆けるランナー

「おかやまマラソン2026」（実行委員会、岡山陸上競技協会、岡山県、岡山市主催）は8日午前8時45分、シゲトーアリーナ岡山（岡山市北区いずみ町）前をスタートした。第10回の節目を迎えた大会には1万6400人（フルマラソン1万5千人、ファンラン1400人）がエントリーし、岡山の街はランナーたちの熱気に包まれた。

フルマラソン（42・195キロ）は岡山市の中心市街地を南下し、田園が広がる南区灘崎地域を折り返す日本陸連公認コース。カラフルなウエアに身を包んだ出場者は、沿道で振る舞われる「おもてなし給食」や景色を楽しみ、思い思いのペースでゴールを目指した。ファンラン（5・6キロ）の参加者も西川緑道公園筋など市中心部を走るコースを満喫した。

沿道を埋めた大勢の市民は途切れない声援でランナーを後押しし、5千人超のボランティアが給水や誘導などで運営を支えた。

参加者データ

フルマラソンにエントリーした1万5千人は男性80・4％、女性19・6％。居住地別では岡山県内が61・4％に上り、近畿10・4％、岡山県以外の中国8・4％、四国7・9％と続いた。年代別では男女ともに50代が最多。海外枠は台湾、香港、中国、シンガポール、タイ、オーストラリア、韓国、米国といった13カ国・地域から申し込みがあった。

朝刊+電子版のWプラン
（月3,900円）
山陽新聞
お申し込みは
0120-34-4301 か
スマホ はこちらから

山陽新聞

発行所
山陽新聞社
岡山市北区柳町2-1-1

号外



ビルが立ち並ぶ岡山市中心部の桃太郎大通りを走り抜けるランナー



スタート地点でランナーに手を振る大会関係者



給水所でボランティアが用意したドリンクを受け取るランナー＝岡山市中心部



スタートの号砲を鳴らす実行委副会長の松田正己岡山陸上競技協会会長



沿道で声援を送る人たち＝岡山市中心部



沿道の声援に応えながら走るファンランのランナー＝西川緑道公園筋

朝刊+電子版のWプラン
（月3,900円）
山陽新聞
お申し込みは
0120-34-4301 か
スマホ はこちらから